



農林水産大臣表彰

山尾通明さん（押撫）



昭和52年4月から現在に至るまでの28年間、笠岡市農業委員として農業の発展と農業者の地位の向上に尽力され、平成10年4月からは会長としての重責を担われている。

「地域の皆さんや、農業委員の皆さんのご支援の賜で、とてもありがたく感謝しています。」と受賞の喜びを語られる山尾さん。農業委員としての長年の活動の中では、笠岡湾干拓地の誕生も含め、農業を取り巻く情勢の変化に直面してこられたそうです。

「高度経済成長の時代を経て、国民の生活水準は大きく向上しました。しかしその反面、農作物は海外からの輸入が激増し、農業所得の伸びは他の産業に比べると低く、農業従事者の高齢化と後継者不足が、日本の農業振興における最も重要な課題となっています。笠岡市では線引きの廃止に向けた検討が進められており、農業委員の役割も今以上に大きくなりますが、しっかりと職責を果たしていきたい。」と語られていました。

日本公衆衛生協会長賞 笠岡地区愛育委員会



こんにちは ♥ 私たち介護相談員です



私たち介護相談員は、介護サービス利用者の日常的な不安や不満、疑問などの声を聞き、問題の提起、解決策の提案など利用者とサービス提供事業者との橋渡しを行います。現在は、5人体制（訪問は2人1組）で活動しています。

※写真左から
岡 清美さん、川平敬子さん、星野恵子さん、齋藤直子さん、中尾淳子さんです。
施設などで見かけたら気軽に声をかけてください。

こんな活動をしています

- 派遣を希望する介護保険施設やデイサービスセンターなどを定期的に訪問し、サービス利用者のお話を伺い相談に応じています。もちろん、相談者のプライバシーは厳守します。
- 介護サービスを利用される皆さんは、気兼ねなどから人知れず我慢し、日常的な不満や疑問・苦情や要望などを職員に伝えづらい場合もあります。利用者の立場にたって施設へ声を伝え、問題解決に向けた手助けを

行います。

- 4カ月ごとに施設の担当者
と意見交換を行い、サービスの向上を図っています。

こんな改善がありました

- 小さなことでも、利用者の声があるまま伝えるよう心がけています。施設も改善の努力をされ、サービスの向上につながり、利用者にも受け入れ施設にも好評です。
- 誰も話し相手がいない利用者への細やかな声かけや、会話が少ない人には話しやすい時間を計画し実践する。

訪問施設

- 味付けが口に合わない
↓利用者
の好みを確かめ、食事の様子を観察しながら、栄養士と相談し希望に沿うように努める。
 - ゆつくりお風呂に入りたい
↓入浴時間の制約がない時間帯に、ゆつたりと入っていただく。
- 次の施設と併設のデイサービス（通所介護）・デイケア（通所リハビリテーション）センターを訪問しています。
- 特別養護老人ホーム瀬戸内荘
 - きのこ老人保健施設
 - 老人保健施設ナーシングホーム三愛
 - 特別養護老人ホーム天神荘
 - 天神介護老人保健施設
 - このしま介護老人保健施設
 - 介護老人保健施設瀬戸いこ苑
 - 特別養護老人ホーム三愛園
 - 老人保健施設くじば苑

問合せは

介護保険課

☎021-303610